

日本共産党 西宮市議会議員

三好さつきだより



〒662-8367 西宮市六湊寺町10-3
TEL・0798-35-3368
s.miyoshi0506@gmail.com



2024.12 No9

マイナ保険証一本化でなく保険証の存続を！

12月議会

12月2日、政府は健康保険証とマイナ保険証の一本化に向けて、従来の保険証の新規発行を停止しました。10月時点でのマイナ保険証の利用率は15.67%。制度が始まって3年経過してもこの数字は、マイナンバー制度とマイナ保険証が抱える根本的な欠陥に対する国民の不信や不安の根強さを表しています。



Q マイナ保険証の有効期限 5年ごとに更新が必要。

2025年以降に期限切れが増大する対応について

A 来年4月からの期限切れは5万8千人。3か月前から更新のお知らせが届く。本庁舎1階の市民課窓口とは別に、東館8階にマイナカード交付の特設会場を設置し、体制をとっている。公式LINEを利用した事前予約制をHPで案内している。

→案内に気づかない人がいる。更新を忘れてしまい、無保険状態にならないか心配

Q 高齢者・障害者など社会的弱者の方が取り残されないか心配だ

A 介助のいる方など代理人交付が認められている。福祉施設の要望があれば出張申請での交付を行っており、3施設で88名の方に交付。暗証番号のいらぬ顔認証マイナ保険証を殆どの方が希望された。医療機関での認証困難時はカードの写真と本人を職員が目視で確認する対応を行う。



→施設へのお出張申請、更新時も市が責任もって行うのか？無責任な対応だ。後に1件当たり市と事業者に補助金が入るしくみとわかる。それより、今ある保険証の有効期限まで使えること、期限切れ前には資格確認書が保険者から送付されることを説明することが必要ではないか。

市長へ質問

保険証廃止をどう考える？

12/2以降、現在お持ちの被保険者証は有効期限まで使えます。利用を希望しない方には、被保険者証と同様に使える資格確認書で受診できます。様々な意見のある中、マイナ保険証の利用拡大は、その便利さを認識することで実現されるべきであると考えています。

Q 市民への広報・周知の方法は？

A マイナ保険証を登録した方、していない方にも正しい情報のもとで診療を受けていただけるよう周知していく

→市政ニューでの特集、号外・保存版などで問題点を含めた周知を。

Q 10/28からマイナ保険証の利用解除はじまっている

A 国民健康保険・後期高齢者医療制度ともに、市役所窓口で受け付けしており、11月末時点の申請件数は国保63件、後期高齢54件。有効な保険証があれば、期限切れまでに資格確認書が送付される。有効な保険証がない場合は、資格確認書を交付する。

→申請して解除までに1~2か月かかると。後期高齢においては、システムが整っていないために申請は受付けるが、さらに解除まで時間がかかるとのこと。システム開発に莫大なお金をかけているが、当初から解除は想定していなかったことがうかがえる。無責任だ。



さまざまな問題は従来の保険証を残せば解決することばかり！国民皆保険制度を崩しかねないマイナ保険証の一本化には反対です。

人間ドックの受け皿は？

病院統合後

2026年上期開院に向けて、県立西宮病院と市立中央病院の統合に向けて建設工事が進んでいます。2020年10月改定の「統合再編基本計画」で「中央病院の機能継承についての考え方」として「民間の医療機関との役割分担のもと、がん検診のうち受診医療機関が少ない乳がん、子宮頸がんの検診は統合再編新病院で継続して実施する。人間ドックについても、民間に委ねる方針で、具体的な方法は引き続き県市で検討していくこととする」と確認されている。これまで、中央病院で実施してきた健診業務については2025年度をもって終了することが決まっています。健診の中でも人間ドック費用助成を受けている方の受け皿はどうなのか気になりました。昨年度、中央病院で費用助成を受けた受診者は1110名です。中央病院の健診メニューは脳ドックや婦人科健診も受けることができるとあって、近隣市からも受診されており、回を重ねる方も多くあります。

市は市内医療機関へアンケートを実施。そのうち、人間ドックを実施している医療機関へ受け入れを打診しているとのことですが、現時点で厳しい状況だとわかりました。医師会への協力要請や担当部局だけでなく、全庁あげて取り組む喫緊の課題です。時間がありません。市民の方が安心して次の機関で人間ドックをうけることができるように！市の予防の取り組みが後退することのないように！

西宮の人間ドック受診費用助成は、被保険者の健康づくり意識の向上及び生活習慣病の予防を図り、健康の保持増進に寄与するため、昭和63年からスタートしたと。当初は国保のみであり、75歳になり、助成を受けられなくなるのが課題となり、平成25年から後期高齢においても助成となった。他市と比べても早期から健康意識の高い自治体といえます。

現在、市内で助成を受けることのできる機関は中央病院、北口保健センター、医師会診療所、高田上谷病院、谷向病院の5か所です。



よく走ってくれた
さつきカー1号、ミニキャブ
ちゃんが引退しました。
おつかれさまでした



さつきカー2号
タントちゃん。
街中で見かけたら、
手をぶってね！



改善されました



東三公園

「東三公園の藤棚の藤が山盛りで垂れ下がっている！何とかして！」と近隣の方から連絡がありました。

担当課へ連絡すると、まだ剪定の時期ではないとのことでしたが、すぐに確認に行かれ、写真のように対応されました！支出削減で、剪定の回数も減らされていることも気になります。樹木の剪定の相談はよく入ります。



伊丹市でも近畿中央病院と伊丹市民病院の統合が進んでいます。近畿中央病院を考える会の要請で、「病院の機能分化」「医療と介護の連携」について話をしました。改めて西宮市の課題についても振り返る機会となりました。



お困りのことが、あればご連絡くださいね。

